

ScreenBeam Central Management System Enterprise

マルチユーザー、ロールベースの受信機管理

ScreenBeam CMS Enterpriseなら、様々な場所やネットワーク上に分散しているScreenBeam受信機にリモートでアクセスし管理することも簡単です。管理者は、受信機の状態監視、セキュリティポリシーの適用、問題のトラブルシューティング、リセットの実行、受信機の更新といった作業が行えます。新たに追加されたロールベースのアクセス機能により、複数の管理者が同時に管理したり、管理者ごとに異なる権限レベルで管理できるようになります。

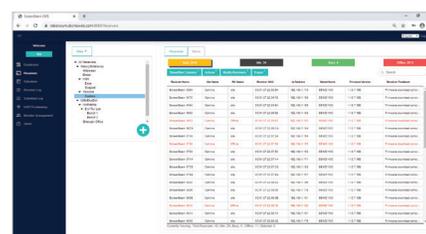
ScreenBeam 1100、1000 EDU、およびそれ以降の受信機に搭載されているCMS Enterpriseは、ワイヤレス受信機のデプロイと管理に要するコストを大幅に削減し、あらゆるサイズのデプロイメントをサポートします。

ロールベースのアクセスにより、複数の管理者がScreenBeam受信機を監視・管理することができます。ダッシュボードで問題点を素早く特定して、ScreenBeamの可用性を高めることができます。いずれの受信機も、手動でログインせずとも状態の詳細なチェックと設定変更が行えます。

サイトごとに受信機をグループ化できるため、管理者は必要に応じて特定のエリアの管理に集中することができます。タスクスケジューリングにより、ファームウェアの更新などの一般的なタスクが自動化されます。詳細に記録されたログをチェックすることで、管理者が実行したアクションやタスクの検証が可能です。CMS Enterpriseは、管理する受信機が何百台あるいは何千台であっても、IT管理者のニーズに応える優れた柔軟性と拡張性を提供します。



型番
ScreenBeam CMS Enterprise
ScreenBeam 1000シリーズの受信機には永続ライセンスが付属しています。



長所

- ✓ どのようなサイズのデプロイメントでもScreenBeam受信機を一元管理
- ✓ お使いの環境に合わせてポリシーとセキュリティを設定
- ✓ 必要に応じてファームウェアの更新スケジュール設定とポリシー設定のプッシュ配信が可能
- ✓ ScreenBeamの状態をリモートで監視してイベントを記録
- ✓ ITヘルプデスクがユーザーをリモートでサポート

CMS EnterpriseとCMSの特徴の比較

機能	CMS Enterprise	CMS
プラットフォーム	Webベース	アプリケーションベース
ホスティング	セルフホステッド	セルフホステッド
オペレーティングシステム	Windows 10およびWindows Server 2019	Windows 10およびWindows Server 2019
管理インターフェイス	Webブラウザ	Windowsアプリケーション
同時管理のサポート	あり(マルチユーザー)	なし(シングルユーザー)
ロールベースのアクセス管理	グローバル管理、サイト管理、サイトモニター	非サポート
ダッシュボード概要	デバイスと障害ホットスポット	非サポート
ScreenBeam受信機の数	最大5000台	最大2500台
サポートされているScreenBeam受信機	1000シリーズ	1000シリーズ、960、750
価格設定(搭載されている機種)	1000シリーズ	1000シリーズ、960、750

業界リーダー

ScreenBeam Inc.はワイヤレスディスプレイと共同作業環境分野のリーディングカンパニーです。アプリを使わずに最新のデバイス上での画面共有エクスペリエンスを提供し、ミーティングスペースや教室において直感的なワイヤレスコラボレーションを実現します。ScreenBeamは、ワイヤレスディスプレイに関するMicrosoftの共同開発パートナーとして、Office 365のワイヤレスエクスペリエンスを実現しています。

ScreenBeamのソリューション、Microsoft、大手PCメーカーやデバイスメーカーなどの企業によって、ワイヤレスディスプレイ機能の検証用プラットフォームとして採用されています。ScreenBeamはカリフォルニア州サンタクララに本社を置き、米国、ヨーロッパ、アジアの各地にオフィスを構えています。

screenbeam.com

© 2020 無断転載禁止ScreenBeamおよびScreenBeamのロゴは、ScreenBeam Inc.の登録商標です。その他のすべての名称は、各所有者の所有物です。仕様は予告なしに変更される場合があります。051520-v4

各受信機の状態を1つの画面で確認する

グループペインは、接続されているすべてのScreenBeam受信機の状態と主要な情報を一目で確認できるCMSのメインインターフェイスです。

機能

- Webベースのマルチユーザーアクセス
- 受信機に関する重要なインサイトとデータを記録
- 1人のユーザーに複数のロールを割り当て可能
- ネットワークまたはUSBを使用して素早くデプロイ可能
- 状態を素早く確認できるダッシュボード
- タスク自動化のためのタスクスケジュールリング
- サイトごとに最大3つの階層レベルで受信機をグループ化可能
- 隔離されたネットワーク上で動作
- 受信機ごとまたは受信機グループごとに監視と設定変更が可能
- ScreenBeam 1100、1000 EDU、およびそれ以降のすべてのモデルに無償で搭載

システム要件

ハードウェア要件

オペレーティングシステム	Windows 10 (Enterprise/Professional)、またはWindows Server (2019)
プロセッサ	第4世代Intel Core i5 2GHzまたは同等のプロセッサ(またはそれ以上)
メモリ	8 GB(またはそれ以上)
ハードディスク容量	30 GB(またはそれ以上)
インターネット接続	インストールと更新用
USB(オプション)	USB 2.0以降(受信機のプロビジョニング用)

ネットワークアクセス

有線接続	10/100/1000-BASE-Tイーサネット
無線接続	以下のいずれかの認証方式をサポートする802.11デュアルバンドアクセスポイント: Open, Shared, WPA-Personal, WPA2- Personal, WPA2-Enterprise (802.1x) PEAP-MsCHAPv2, EAP-TLS(最大2048ビットの証明書)
スタンドアロンWebサーバー	ファームウェアの更新用
ネットワークポート	設定可能なポート(管理者アクセス用)
サポートされているプロトコル(オプション)	社内DNSサーバー